

< 記載例① >

様式第1号（第5条関係）

山形県リサイクル製品認定申請書

平成〇〇年〇〇月〇〇日

山形県知事 吉村 美栄子 殿

申請者

住所（本社所在地）

△市××-丁目〇-〇

氏名（会社等名称）

△△リサイクル株式会社

（代表者氏名）

代表取締役社長 ◎◎◎◎ ◎

電話番号

〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

山形県リサイクル製品認定制度実施要綱第5条第1項の規定により、次のとおりリサイクル製品の認定を申請します。

記

1	品目名	汚泥発酵肥料	循環資源、主たる製造工程が同じ製品は1つの申請となります。製品名称が複数ある場合はすべての名称を記載してください。
2	製品名	グリーンたいひ	
3	製造事業所	所在地	△市××-丁目〇-〇
		名称	△△リサイクル株式会社 堆肥工場
4	製品のサイズ・重量等	5kg（袋詰め）	多くの規格がある製品について、記載欄が不足する場合は「別添資料のとおり」と記載し、規格がわかる資料を添付してください。
5	添付資料等	(1) 誓約書 (2) 当該製品（現物又は製品説明書等） (3) 当該製品の製造加工フロー (4) 審査資料（様式1～3及び根拠資料等） (5) 会社案内・パンフレット等	
6	その他参考事項	食品リサイクル法による再生利用事業計画に参加（平成〇〇年×月認定）	

担当者 連絡先	所属部署	環境事業部長 山形 太郎
	役職・氏名	△△リサイクル株式会社堆肥工場
	所在地	△市××-丁目〇-〇
	電話	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
	F A X	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
	E-mail	△△recycle@□ta〇〇.co.jp

< 記載例② >

【フロー図の例】「グリーンたいひ」の製造加工フロー図

循環資源及び天然資源の種類ごとに投入量を記載してください。なお、当該部分と(様式1)で記載いただく循環資源及び天然資源の利用量は数字が合うようにしてください。

〔インプット〕 (年間量)

循環資源	動植物性残さ	3000t
	下水道汚泥	200kl
天然資源	パーライト	160t

エネルギー	軽油	
-------	----	--

エネルギー	電力	
-------	----	--

エネルギー	電力	
その他	外気	

エネルギー	電力	
-------	----	--

エネルギー	電力	
資源	水	

エネルギー	電力	
-------	----	--

循環資源	間伐材木くず	100t
------	--------	------

エネルギー	軽油	
-------	----	--

エネルギー	軽油	
-------	----	--

資源	PE製袋(2l)	
----	----------	--

その他	雨水	
-----	----	--

エネルギー	軽油	
-------	----	--

〔フロー〕

原材料収集

原材料運搬

原材料ホッパ

搬入用コンベア

発酵槽

脱臭ブロフ

脱臭装置

排水処理槽

搬出用コンベア

二次発酵ヤード
水分調整

切り返し

工程排水

敷地内搬送

袋詰め

出荷

販売
使用

施肥

土壌分解

袋の廃棄

〔装置〕

ダンプトラック
排気量 4000cc
積載容量 4t

ベルトコンベア
搬送能力5t/日

発酵槽 容量250立米
攪拌装置
攪拌能力5t/日

脱臭ブロフ
吸気能力 500kl/h

脱臭装置
脱臭能力900立米/h
(騒音規制法:特定施設)

放流水質BOD 60mg/l
SS60 mg/l

ベルトコンベア
搬送能力5t/日

ホイロローダー
排気量 4000cc
バケツ容量 50kl

軽トラック
排気量 660cc
積載容量 500kg

袋詰め装置
能力 2kg袋×200/日

雨水分離槽

平ボデートラック
排気量 4000cc
積載容量 4t

〔アウトプット〕 (年間量)

悪臭	
悪臭	

排気ガス	
騒音	

振動	
騒音	

廃棄物	
-----	--

騒音	
悪臭	

排気ガス	
CO2,NH4	
騒音・昼間	23dB
騒音・夜間	20dB

放流水	
-----	--

振動	
騒音	

排気ガス	
騒音	

排気ガス	
騒音	

放流水	
廃棄物	

排気ガス	
騒音	

廃棄物	
-----	--

有害成分残留	1kgあたり
ひ素	3g
カドミウム	0.2g
水銀	0.1g
ニッケル	5g
クロム	2g
鉛	5g

※1 これはイメージですので、記載内容や方法については、適宜実態に合わせて記載してください。
※2 インプット、アウトプットには、可能な限り数値データを記載してください。

可能な限り、製造過程における環境負荷量を把握し、製品製造に係るCO₂排出量を明らかにしてください。CO₂排出量の算出方法など、不明な点がある場合は、循環型社会推進課まで相談してください。

製品製造に係るCO₂排出量(年間量)

< 記載例③ >

申請様式 1

山形県リサイクル製品認定申請に係る循環資源利用率及び品質・性能・安全性

製造実績がある場合には、過去1年間について集約した最新の数値、状況について記載してください。
1年以上の製造実績がない場合は、事業計画で予定する数値、状況について記載してください。

製品製造時における循環資源の投入量を記載してください。なお、当該部分と製品製造加工フローにおける投入量は数字が合うようにし

製品製造時における天然資源の投入量を記載してください。なお、当該部分と製品製造加工フローにおける投入

1 当該製品における循環資源の利用率（下段：該当する製品の場合は記載すること。）

循環資源年間 利用（予定）量（A）	天然資源年間 使用（予定）量（B）	循環資源利用率 (C = A / (A + B))
3, 840 t	160 t	96.0%
[溶融スラグ量・フライ アッシュ量] (D)	[細骨材量（砕砂）・ セメント量] (E)	[溶融スラグ利用率・ フライアッシュ利用率] (F = D / (D + E))
t	t	%

2 当該製品における循環資源の利用量

該当する場合には記載してください。

循環資源の種類	排出元の名称	年間利用(予定)量(t)	
		計	うち県内排出量
動植物性残渣	〇〇旅館	309	309
動植物性残渣	××ホテル	297	297
動植物性残渣	□□食品△製造工場	1,018	
下水道汚泥	△市下水道汚泥処理場	974	974
家畜ふん尿	畜産業者（△市内）	762	762
間伐材 （木質チップ）	□町林業者 （木くず再資源化施設を經由）	480	480
動植物性残渣	〇〇旅館	309	309
合 計		(G) 3,840	(H) 2,822
県内排出占有率 (H/G)		73.5%	

3 製品に適用される関係法令・規格等

肥料取締法 ・第4条第1項第3号に基づく登録 ・公定規格（含有すべき主成分の最小値） ・公定規格（含有を許される有害成分の最大値） ・公定規格（植物に対する害に関する栽培試験） ・公定規格（原料となる汚泥の有害物溶出試験） 山形県環境物品等調達基本方針 ・特定調達品目：下水汚泥を用いた汚泥発酵肥料	…別添資料1（登録証の写し） …別添資料2（成分分析試験結果） …別添資料3（有害物試験結果） …別添資料4（植害試験結果） …別添資料5（有害物試験結果） …別添資料2（成分分析試験結果）
--	--

4 知的財産権

製品製造及び販売に係る特許権、実用新案権、意匠権、著作権及び商標権の侵害	有 ・ 無
--------------------------------------	-------

当該製品に係る品質、性能に関して適用される法律、条例、行政機関の指導指針、日本工業規格、国際規格、業界の自主基準等があれば、その名称を記載してください。また、当該基準を満たすことを証明する資料を指摘してください。

< 記載例④ >

申請様式 2

山形県リサイクル製品認定申請に係る環境マネジメントに対する企業姿勢

申請製品を製造する事業所において適用される環境法令(含協定等)の名称と具体的な基準値、達成状況について記載してください。

1 適用される環境法令等

- ・【排水】水質汚濁防止法
…特定施設の対象外
- ・【排気】大気汚染防止法
…特定施設の対象外
- ・【悪臭】悪臭防止法
…B区域：アンモニア1ppm
- ・【悪臭】△市との環境保全協定
…事業場敷地の境界線上における大気中のアンモニア濃度は、1/100万以下とすること。
- ・【騒音】騒音規制法
…指定地域の対象外
- ・【振動】振動規制法
…指定地域の対象外

2 自主的な環境管理について（該当するものに○を付けてください。）

- (1) () ISO14001を取得済み
- (2) () エコアクション21認証・登録済み
- (3) () 環境管理規程を整備済み

①～③のうち、申請者が該当するものに○を付けてください。

【注意事項】

①や②に該当しない場合は、必ず環境管理規定を整備してください。整備にあたっては、環境方針のほか、具体的な環境目標や目標を達成するための行動計画も定めてください。

3 その他（特記事項があれば記入してください。）

< 記載例⑤ >

申請様式 3

山形県リサイクル製品認定申請に係る製品の品質保証体制

1 情報公開等のコミュニケーション体制
製品に関する問合せ先

(1)	担 当 部 門	本社総務部	
(2)	担 当 者	職 名	総務部長
		氏 名	山形 花子
(3)	問 合 せ 先	電話番号	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
		F A X	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
		E-mail	△△recycle. Oda×ko. co. jp
(4)	ホームページURL	http://www. △△recycle. ×××. html	

2 表示

(1)	表 示 の 場 所	袋詰め商品の袋・表面下部
(2)	認定マークに代える表示の計画 ※認定マークによる表示が困難な場合に記載すること。	工事現場に看板を設置

製品への認定マークの表示が困難な場合等に、
認定マークに代わる表示計画とその方法について
記載してください。

3 当該製品販売に関する計画

(1)	主な利用先（予定）	・ 農家 ・ 一般消費者	
(2)	販売価格（希望小売価格）	1,000円（5 kg袋）	
(3)	年間販売実績（平成 <u>29</u> 年度）	売上量（単位：t）	400 t (5 kg × 80,000袋)
		売上額（単位：円）	80,000,000円
(4)	製品取扱店舗 ※県内小売等を行う場合に記載すること。	・ ホームセンター××（△△支店） ・ ○△商店	

当該製品に関して、販売実績がある場合は、過去の1年間について集約した最新の数値、状況について記載してください。
1年以上の販売実績がない場合は、事業計画で予定する数値、状況について記載してください。